

環境省エコインターンシップ プログラムの概要

環境省総合環境政策局

環境保健部企画課 化学物質審査室

環境経済課 環境教育推進室

目次

1. エコインターンシッププログラムについて
2. 環境人材育成コンソーシアムについて



1. エコインターンシッププログラムについて

2. 環境人材育成コンソーシアムについて



インターンシップ

「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」

大学・学生にとってのメリット

- アカデミックな教育研究と社会での実地の体験を結び付けることによる教育内容・方法の改善・充実。
- 学生が自己の職業適性や将来設計について考える機会となり、主体的な職業選択や高い職業意識を育成。
- 企業等の現場において就業体験を積み、専門分野における高度な知識・技術に触れながら実務能力を高めることにより、自主的に考え行動できる人材を育成。



企業・経済界にとってのメリット

- インターンシップの普及により、実社会への適応能力のより高い実践的な人材を育成。
- 大学等との連携により、新たな産業分野の動向を踏まえた産業界等のニーズを大学等に伝達、大学等の教育に反映。
- 大学等と企業等の接点が増えることにより、相互の情報の発進・受信を促進。企業等の実態について学生の理解を促す。

環境省エコインターンシップ プログラム

平成19年度引き続き、2回目の実施。

大学生・大学院生を企業の環境管理部門にインターンシップ生として派遣し、企業における環境管理に関する業務体験

<学生のメリット>
学生に、「環境のことを考えて働く」実践的な体験の機会を提供。

<企業のメリット>
企業の自主的取組を学生を通して社会に発信するとともに、フレッシュな意見を取り入れる機会を提供

次世代に向けた環境意識の高い人材を育成。
企業の適切な環境管理を促進。

実施主体：環境省
事務局：(社)環境情報科学センター

平成19年度の成果(参加者の声)

参加学生



環境対策に積極的に取り組んでいる就職先を選びたい。

環境対策に積極的に取り組んでいる企業があると知って安心した。

社員の方が率直に考えていることを述べていたので、理想と現実の相違、社会と企業の視点の相違なども分かりました。

受入企業

次世代を担う若者の持つ新しい価値観や提言に接することで、様々な良い“気づき”を得ることができました。

環境やCSRに関する取り組みが、社会に伝え切れていないことを実感しました。



意識の高い学生に環境活動の実態を内側から見てもらい、今後の取り組みについて新たな視点をいただきました。

平成20年度エコインターンシップ実績

3/14・18: 企業向け・大学向け説明会
(東京・大阪)

3/14 ~ 5/2: 受入れ企業募集期間

5/22 ~ 6/8: 学生募集期間

5/22・23: 学生向け説明会(東京・大阪)

7月初旬: 学生の受入れ先企業決定

8/8: 事前研修(マナー研修、企業の
環境管理に関する基礎的な研
修等)

8月 ~ 10月: インターンシップ実施

12/21: シンポジウム開催

70名の応募から選考により、様々な学部・専攻の23名が参加決定。

10社が23名の学生を受け入れ、環境管部門で業務を体験。

平成20年度エコインターンシップ参加企業

旭硝子株式会社

花王株式会社

カシオ計算機株式会社

住友化学株式会社

住友スリーエム株式会社

積水工業株式会社

セイコーエプソン株式会社

株式会社東芝セミコンダクター社

株式会社ブリヂストン

株式会社村田製作所

参加した学生：

大学院生 修士課程 6名

大学生 4年生 2名

3年生 14名

2年生 1名



1. エコインターンシッププログラムについて

2. 環境人材育成コンソーシアムについて



アジア環境人材育成イニシアティブ

環境人材育成のニーズと課題

アジアの急速な経済成長・工業化に伴う環境問題及び資源消費が世界の持続可能性に大きな影響。
持続可能な社会の実現には、経済社会のグリーン化に主体的に取り組む人材(環境人材)の育成が不可欠。

H19事業

「持続可能なアジアに向けた高等教育における環境人材育成ビジョン」の策定



アジア環境人材育成イニシアティブ (ELIAS) (H20年度～)

大学教育モデルプログラム開発・普及

大学で活用できる教育プログラムを開発。平成20年度は6校を採択。

- 平成20年度採択校(6校)
- 茨城大学
 - 東京大学
 - 慶応大学(湘南藤沢キャンパス)
 - 信州大学
 - 中部大学
 - 高知大学

次世代型の環境人材育成手法の確立

活用

産学官民連携の
環境人材育成コンソーシアム

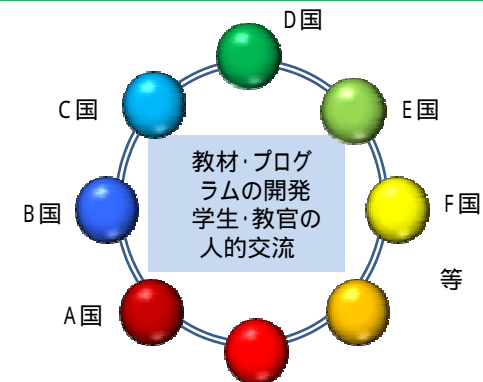
体制



支援

各界の強みを生かした環境人材育成の仕組みづくり

環境人材育成に取り組む
アジアの大学のネットワーク化



アジアの大学院の
環境人材育成能力強化

環境人材育成コンソーシアムの事業イメージ(検討中)

- ・環境人材育成コンソーシアムが行う事業としては、コンソーシアムおよび研究会に参加する組織や参加者同士で、情報交流等ができることを目的とした、セミナーや意見交換会等を開催します。そのほか、3つの中核事業を行うことを検討中です。
- ・また、インターンシッププログラム支援についても検討を行っています。
エコインターンシップの成果は、コンソーシアムにおいて引き継いでいく予定です。

コンソーシアムにて実施する基盤的事業のイメージ (案)

出合いや交流の場の提供

- ・情報交流や連携促進を目的としたセミナーや意見交換会等の開催

3つの試行的事業

- ・T字型人材育成プログラム事業
- ・グリーンMBA/MOTプログラム開発
- ・情報インフラ構築

MBA(Master of Business Administration) : 経営学修士
MOT(Master of Technology management) : 技術経営士

(参考)その他、実施を検討している事業

環境インターンシッププログラム支援

企業等の環境人材リクルート事業

人材派遣プログラムの実施

企業の環境経営促進と連携した人材育成プログラム

コンソーシアム自体の普及啓発活動

環境人材・環境リーダー育成手法マニュアル、共通証明書の作成

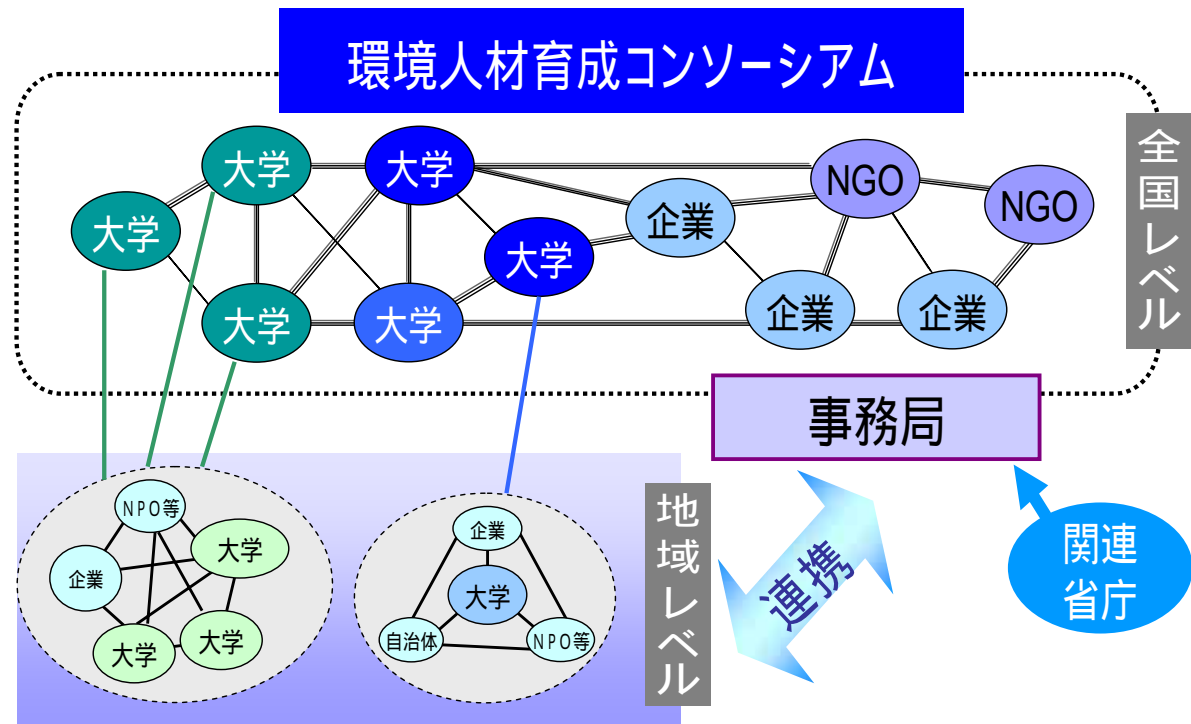
中小企業向けの教育機会の提供

環境人材育成施設・リソースのデータベース作成

環境人材育成コンソーシアム設立に向けた今後のスケジュール

「環境人材育成コンソーシアム(仮称)」の立ち上げ準備のため、「環境人材育成コンソーシアム準備会」を2009年春に設置します。

2009年度中に、「環境人材育成コンソーシアム(仮称)」の設立を目指します。



コンソーシアムでは、事業を通じて、大学・企業・行政・NGO等の組織的な連携を図り、環境人材育成および社会での環境人材の活用の強化に努めます。

ご清聴、ありがとうございました。

